

令和7年9月22日（月曜日）
予算決算委員会経済観光分科会
第4委員会室
出席委員

有馬剛朗、大西陽介、阿野れい子、三輪敏之、
仁野央子、井川一善、杉本博昭、神頭敬介、
岡部敦吏

【経済観光委員会（観光経済局）の審査】

再開 11時16分
観光経済局 11時16分
送付議案説明

- ・議案第90号 令和6年度姫路市一般会計決算認定について
- ・議案第100号 令和7年度姫路市一般会計補正予算（第3回）

質疑 11時36分

（質問）

水族館物品売払収入として約 712 万円が計上されているが、内訳はどのようにになっているのか。

（答弁）

金額の大きなものとして、カプセルトイとして 1 個 100 円で販売している、カプセルに入った亀や鯉などの餌代の売払収入が約 270 万円あるほか、塗り絵や缶バッジなどの売払収入を合わせて約 712 万円となる。

（質問）

姫路城見学環境改善事業において、肩掛け式携帯袋を作成・配布しようとしているが、当該袋の作成費用の財源についてどのように考えているのか。

（答弁）

配布開始予定である令和 8 年 3 月までに当該袋を 80 万枚用意しようと考えており、令和 7 年度は全額一般財源で作成するものの、令和 8 年度以降は縦覧料収入を財源として作成したいと考えている。

当該袋の作成・配布は、令和 8 年 3 月に行う姫路城の縦覧料改定に合わせた取組の 1 つであり、今後も見学環境の改善に努めていきたい。

（質問）

手柄山スポーツ施設整備運営事業の進捗について、

材料・製品価格、労務費等の高騰により数十億円規模の増は避けられず、現在、事業者と事業費の改定について協議を重ねているとのことだが、令和 6 年第 4 回定例会においても約 42 億円の契約金額増額の議決更正を行っており、今後の契約金額についてどのように考えているのか。

（答弁）

令和 6 年度の段階では、工事の着工月である令和 5 年 4 月から出来高の確認月である令和 6 年 3 月までのインフレスライド額が残工事の 1.0%を超えているとして、事業契約書第 86 条の規定に基づき、物価変動に伴うサービス購入料改定の請求があり、当該残工事の部分について約 42 億円の増額変更を行った。

このたび、令和 7 年第 4 回定例会で契約変更議案の提出を予定しているのは、令和 6 年度までに完了した工事部分を除いた残工事に対するインフレスライド額である

令和 6 年度の時点で令和 7 年度以降の物価変動は予測できないため、1 年ごとに算出し、事業費を改定することになる。

（質問）

物価高騰は承知しているものの、毎年契約金額が増額となることに対して何らかの対策は取れないのか。

（答弁）

契約上、建設期間中の物価変動への対応については、設計費、工事監理費を除いた直接工事費等を対象に、毎年度末を基準として残工事に対するインフレスライドの変更額を建設物価の建築費指数及び見積等に基づき算出し、1%を超える物価変動がある場合に事業費を改定することとなる。

また、国土交通省からも、残工事に対してもインフレスライド条項を適切に運用するよう要請がなされており、本市もその取扱いに準じて運用を行っている。

本市では事業者の見積りをうのみにするのではなく、適正なものかどうかをきちんと精査した上で、本委員会に諮っているところである。

当初から契約金額が増額にならないような仕様を検討することで、想定していた総額の見込みよりは大幅少なくなっているものの、現状ではこれ以上工法を変更することはできない。

なお、冷暖房設備の導入などの電気工事等を行うに

当たり、可能な限り経費を抑えるよう事業者には伝えている。

(質問)

動物購入費に約 46 万円支出しているが、内訳はどのようなになっているのか。

(答弁)

令和 6 年度はポニーを購入しようと 220 万円の予算を計上していたものの、動物園の規模縮小の流れで、アカカンガルーに変更したものである。

(質問)

美術品購入等経費に約 5,890 万円を支出しており、以前は 7,000 万円ほどの予算が計上されていたと思うが、美術品購入の予算を削減しているのか。

(答弁)

従前は 10 億円余り積み立てている美術品取得基金を取り崩して美術品の購入を補填していたものの、令和 6 年度に姫路市美術品取得基金条例を改正し、一般会計に繰り入れてから購入するよう変更したことに伴い、予算額を減らしている。美術品購入等経費全体の決算額としては、美術品購入等審議委員会の運営経費等も含んでいる。

なお、令和 5 年度には、杉本博司氏の作品「日本海、隠岐」を 5,600 万円で購入している。

(質問)

令和 7 年 3 月に高知県立美術館が、所蔵する絵画を贋作だと判断したというニュースがあったが、本市でそのようなことはあり得るのか。

(答弁)

本市では美術品は、学識経験者等 15 人から構成される美術品購入等審議委員会で審議した上で購入しており、そのようなことはないと考えている。

(質問)

本市では数多くの刀剣を所蔵していると思うが、姫路城においてイベント時などに展示することはできないのか。

(答弁)

以前、美術館で所蔵していた刀剣を姫路城にも展示していたときがあるが、あまりにも姫路城の展示環境が悪いため、美術館に移動させ、きちんと保管している。

現在、美術館で実施しているオールひめじ・アーツ

& ライフ・プロジェクト オムニバス第 1 期において、杉本博司氏の「狩野永徳筆 安土城図屏風 想像屏風 風姫路城図」に併せて刀剣も展示している。

刀剣は相応の環境で展示することが最も望ましいため、今後も引き続き、できる限り注目を集められるような形で展示するよう考えていきたい。

(質問)

地域経済緊急事業費中のトラック運送事業者燃料価格高騰対策事業費について、申請件数が想定を下回ったということだが、トラック運送事業者には当該事業の周知を徹底していなかったのか。

(答弁)

トラック運送事業者には兵庫県トラック協会姫路支部を介して全会員に周知をしたため、基本的には漏れなく希望者全員が申請したものと認識している。

このたびの執行残が発生した理由としては、当該事業費は急遽補正予算として、県がおおよその申請件数として予想したものを準用して計上しており、実態よりも見積件数のほうが大きかったためである。

観光経済局終了

1 1 時 5 2 分

【経済観光委員会の意見取りまとめ】

意見取りまとめ

1 1 時 5 6 分

・分科会長報告について

正副分科会長に一任することに決定。

意見取りまとめ終了

1 1 時 5 7 分

閉会

1 1 時 5 7 分

【経済観光委員会の協議事項】